

フォークリフトでバック中 後輪がカルバートの上を通り破損させた**【発生状況】**

フォークリフトでフレコンバッグを運搬中、フォークリフトをバックさせた際に後輪がカルバート(ケーブルピット)に乗り蓋部分を破損させた。
カルバート内には電気ケーブルが通っていたが、ケーブルの損傷はなかった。

【破損状況】

破損状況(拡大)

【原因・問題点】

- ①カルバート上を通過すると破損するかもしれないという認識が不足していた。
- ②道路上ではなかったためフォークリフトの誘導をしていなかった。

【対策】

- ①車両の通行経路や近辺に破損するおそれがあるものがないか、必要な箇所に養生がされているか、事前に確認する。
- ②道路以外でも車両を後退させるときにはできるだけ誘導をする。